





顧問 澄田 晃治（四期）

## 活動再開へのエール

“春爛漫”私の好きな言葉です。昨今のコロナ禍でこのフレーズが虚しく響きます。同窓会島根県支部の活動も「やりたいけどやれない」ジレンマの一年ではなかつたかと推察いたします。

現在、地元への恩返しのつもりで、地域福祉等のお世話をしています。昨年度は主要行事が中止になりました。コロナの展望が読めない中、新年度の事業計画を模索中です。基本姿勢は【出来ることからやる】です。

先般、久し振りに同窓会のホームページを見ました。本部、各支部とも活動実績が乏しく、寂しい限りで

す。と同時に活動再開の必要性を痛感しました。  
どこの支部が動けば他も追随します。その鍵を握るのは島根県支部だと思います。人材が揃っています。閉塞感を打破し、存在感アップの為リーダーシップを發揮してください。「開店休業」状態から一日の早い脱皮を会員として心から要望します。

## 島根の春

今年の島根は、例年よりもかなり早く桜が咲いています。開花は松江気象台で記録をはじめて、最も早くかつたようです。

出雲市近隣の桜の名所の一部を紹介いたします。



樹齢 300 年の段部のしだれ桜

さくら名所 100 選に選ばれた斐伊川堤防



ご来賓の川波学長様、田中センター長様



R2 女子会



R2 サツマ芋贈呈



H31 女性部・青年部交流会



H30 芋の収穫祭でご奮闘の中村会長様

友部活動の軌跡



H28 全国の集い in 下関



H31 雲南地区交流会



H29 芋の収穫祭

### 【編集後記】

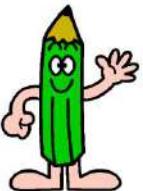
この度、広報誌第六号を発刊することができました。

これまでの広報誌は支部活動の内容を紹介することがメインだったため、発刊を見送ることも考えました。

しかし、こんな状況だからこそ、せめて広報紙だけは発刊しようとした。

特に、川波学長様と田中センター長様にはご無理をお願いしたところ、ご快諾いただきました。（中村会長様には、芋の収穫祭で島根においていただいた時にご寄稿いただきました。）ご寄稿いただいた皆様、本当にありがとうございました。

今後も、皆様にはご意見を頂戴し、寄稿もお願いしたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。



（事務局 藤江）